

(別紙様式)

令和6年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立八重山商工高等学校
記載者名	教頭 神村智子

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	47	3	0	53

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	0				5

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	129	244	0				373

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和5年度の学校評価を踏まえ、令和6年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①HPやスクリレを積極的に活用した情報発信により、保護者・地域との連携を行った。
②望ましい部活動指導体制の確立に向け、複数顧問制の導入と校内研修に取り組んだ。
③同僚・管理職による授業参観においてICTを活用した授業改善に取り組んだ。
④教育相談体制の充実により、いじめの未然防止・早期発見に取り組んだ。
⑤魅力ある教育課程を中学校訪問と2回のオープンスクールでアピールした。

6 令和6年度の学校評価で明らかになった課題

①主体的に学習に向かう態度の育成。
②国際理解教育、異文化交流事業等の更なる充実。
③キャリア教育と教育相談体制の全職員、他機関との連携。
④学校から発信する家庭への連絡等の工夫。
⑤職員のゆとりある時間の確保。

7 令和6年度の学校評価を活かした令和6年度の改善点

①学習内容の理解度を確認しやすい単元テスト導入と定期テストの効果的な見直し。
②生徒の実態に応じた補習・補充の在り方・段階的な面談体制の整備。
③教育相談、特別支援コーディネーターを配置した教育相談、学習支援体制の構築。
④デジタル連絡ツール(スクリレ)の積極的な利用で保護者・地域との連携と広報の充実。
⑤教室と職員室のインターネット環境整備により1人1台端末を活用した授業力の向上。